

# 「大企業減税」の穴埋めに「消費税増税」は許されない！ 「消費税増税の中止を求める請願」に賛成討論

市議会最終日、なすまどか議員は、市民から提出された「消費税増税の中止を求める請願」について、採択を求める立場から賛成討論を行いました。

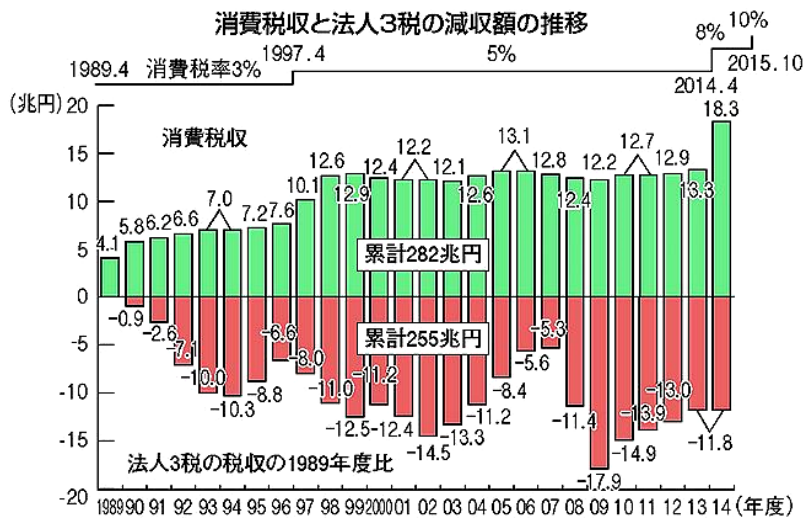
討論では、4月からの8%への増税により、駆け込み需要の反動減が、売り上げ、消費、生産などあらゆる分野に顕著に表れていることを指摘。

かつて1997年の消費税5%への引き上げが原因で、消費を冷え込ませ、長引く不景気に陥った経験も紹介し、同じ過ちは許されないと、増税中止を求めました。

## 消費税増税後の生産、消費に関する主な指標 (4月、前年同月比での増減)

- 消費者物価指数 3.2% ↘
- 非正規雇用 57万人 ↘
- 自動車8社の海外生産台数 5.8% ↘
- 実質消費支出 4.6% ↘
- 小売販売額 4.4% ↘
- 新設住宅着工 3.3% ↘
- 勤労者世帯の実収入 7.1% ↘
- 鉱工業生産指数 2.5% ↘

## 282兆円の消費税で255兆円の大企業減税の穴埋め



また、討論では、安倍政権のもとで、大企業へのさらなる減税が進められるなかで、その空いた税収を埋めるために、福祉の切り捨てや消費税10%への引き上げが検討されていることを厳しく批判。消費税増税ではなく、大企業へ応分の税負担を求めるべきと指摘し、請願の採択を求めました。

## 6月議会の主な議案等への会派の賛否状況 賛成○ 反対●

	共産	自民	未来	連合	公明	自由	教育	市政
2014年度一般会計補正予算	●	○	○	○	○	○	○	○
熊本市税条例の改定	●	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定（城南地域物産館）	●	○	○	○	○	●	○	○
集団的自衛権の行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書	○	●	●	○	●	●	●	●
特定秘密保護法の廃止を求める意見書	○	●	●	○	●	●	●	●
消費税増税の中止を求める請願	○	●	●	●	●	●	●	●
桜町再開発への補助金支出とMICE整備の中止を求める請願	○	●	●	●	●	●	●	●

(会派名) 未来：くまもと未来、連合：市民連合、自由：自由クラブ、教育：日本の教育を考える会、市政：市政クラブ

6月議会の主な議案や請願に対する賛否は上表の通りです。

補正予算については、水痘や成人用肺炎球菌ワクチンの接種経費が提案されましたが、個人負担が4600円となっており、相模原市のよ

うに2000円とするなど、より多くの市民が予防接種を受けられるよう個人負担の軽減を求めました。また、市税条例の改定については、軽自動車税を引き上げがその内容となっており、反対しました。

(控室から) 益田牧子  
だれのための「骨太方針」?  
安倍内閣が閣議決定した「骨太方針」と新成長戦略。地元紙でも、金子勝慶応大教授が「これは、小泉政権の『構造改革』の焼き直し」「地域分散ネットワーク型への転換が必要」と論評。赤旗はもつとわかりやすい。消費税は上げます。法人税は下げましょう。年金支給額は下げます。受け取り開始年齢は上げます。残業代は払わないですむようになります。不安定雇用は拡大します。誰の骨が太くなるのかは歴然。「大企業栄えて、民細る」政策がてんこ盛り。農業分野でも、「攻めの農業への転換」として、日本の農業を支えてきた家族農業を破壊し、農業委員会を公選制から首長による任命へ。JA全中を「自立的新制度」に移行と称し、解体方向を明確にしています。TPP反対の声を封じ込める卑劣なやり方です。正に、わが意に沿わぬものは、切り捨てゴメン。安倍首相の顔が、だんだん独裁者ヒトラーに似てきました。

日本共産党 市議会だより  
発行：日本共産党熊本市議団  
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか  
熊本市中央区手取本町1-1 3階  
メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
HP：http://www.jcp-kumamoto.com/

NO. 906  
2014年6月29日  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

# 県下14市・九州県都で最高額の国保料(1人当たり)引き下げを!

82億円累積赤字は14年度末解消見込み!  
**今度は、住民パワーで国保料引き下げを!**

幸山市長の下で、最高82億円余りまでに膨らんだ、累積赤字は、13年度末では、15億9000万円に減少、14年度末には解消の見込みです。

一方、累積赤字解消のために、国保料値上げを繰り返し、1人当たりの国保料は、県内14市・九州県都の中では、最高額になっています。

日本共産党は、熊本市の国保を良くする会と共に、「国保料引き下げ」等の署名運動を行い、保険料減免制度の拡充や、保険証窓口留め置きの解消など実現できました。しかし、国保財政への一般会計繰り入額は、北九州市の半分です。熊本市でも、払える国保料にするために、力を合わせましょう。

## 九州県都1人当たり保険料比較所得200万円 (40歳以上夫婦、子ども2人のケース)

順位	九州県都名	1人当たり保険料
1	<b>熊本市</b>	<b>42万6690円</b>
2	大分市	42万300円
3	福岡市	41万9200円
4	佐賀市	41万500円
5	宮崎市	38万7130円
6	鹿児島市	37万7400円
7	長崎市	36万1200円
8	那覇市	35万1100円



**「健康都市宣言」の精神で、特定健診無料化、あんま・はり・きゅう助成回数増を!**

熊本市は、1979年(S54)健康都市宣言を実施。「熊本市は、市民とともに明るく健康な都市をめざして諸施策を結集し、その実現に努めなければならない」との宣言に沿い、様々な施策を実施してきました。

ところが、幸山市長の下で、人間ドック廃止、特定健診有料化(1000円)、あんま・はり・きゅう助成は、上限回数を最高96回・助成額1500円を30回・1000円まで削減。今年度から、65歳以上のインフルエンザ予防接種無料化を1000円に有料化するなど保健事業の後退が続いています。

その結果、健診受診率は伸び悩み、あんま・はり・きゅうは、受診抑制となり、2007年度対比で利用者は約1割減少、決算額では、3割以上の削減で、不用額を大きく残しています。日本共産党は、インフルエンザ予防接種無料化継続、健診無料化やあんま・はり・きゅう助成の回数増を求めています。

## <健診受診率の高い自治体は、自己負担0>

自治体名	自己負担額	備考	13年度受診率
仙台市	0円		44,3%
さいたま市	0円		33,4%
北九州市	0円		32,6%
千葉市	500円		32,7%
神戸市	600円 300円 0円	個別 非課税個別、課税集団健診 非課税集団健診、65歳以上	31,1%
<b>熊本市</b>	<b>1000円 0円</b>	<b>非課税</b>	<b>27,0%</b>